

授業科目名・形態	基礎看護技術演習Ⅱ（診療補助） 演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	黒澤繭子・小畑千春・小玉光子 千葉孝子・伊藤洋介	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習Ⅰで学んだ専門知識や根拠を基に、診療に伴う援助技術を安全・安楽に実施するための方法を学ぶ。

【到達目標】

1. 診療に伴う援助に関する基本技術の方法を習得できる。
2. 診療に伴う援助を安全・安楽に実施するための根拠に基づいた方法を理解できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 創傷管理技術：無菌操作、創傷処置、包帯法
- 第3回 感染防止の技術：ガウンテクニック
- 第4回 与薬の技術(1)：注射作成
- 第5回 与薬の技術(2)：皮下・筋肉内注射
- 第6回 与薬の技術(3)：点滴静脈内注射
- 第7回 診察・検査・処置の介助技術：採血法
- 第8回 呼吸・循環を整える技術(1)：酸素吸入療法・吸引
- 第9回 呼吸・循環を整える技術(2)：冷罨法
- 第10回 食事援助・与薬の技術：食事介助と経口与薬
- 第11回 感染防止・排泄援助技術：一時的導尿
- 第12回 フィジカルアセスメント(1)：呼吸器
- 第13回 フィジカルアセスメント(2)：循環器
- 第14回 フィジカルアセスメント(3)：腹部
- 第15回 まとめ（技術チェック）

【授業実施方法】

演習

【授業準備】

診療に伴う看護技術であるため、様々な医療器具を使用します。演習で行う技術についてワークシートにまとめたり、動画を視聴したりして、事前の一連の動作の手順や注意点を抑えてから演習にのぞんでください。

【主な関連する科目】

総合科目、専門基礎科目、看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習Ⅰ

【教科書等】

基礎看護技術論・演習Ⅰと同様

【参考文献】

基礎看護技術論Ⅰ・演習Ⅰと同様

【成績評価方法】

技術チェック（85%）、授業態度・課題レポート（15%）から総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院での臨床看護の経験がある。看護の基礎として重要な知識や技術を習得する上で、具体例など交えることで応用できる考え方を促していきたい。

【学生へのメッセージ】

清潔操作、無菌操作をはじめ、安全に配慮して実施する看護技術となります。清潔・不潔について常に考えながら演習を行うことを心がけましょう。